



日本女子大学附属高等学校

THE SENIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.

GUIDEBOOK

2024

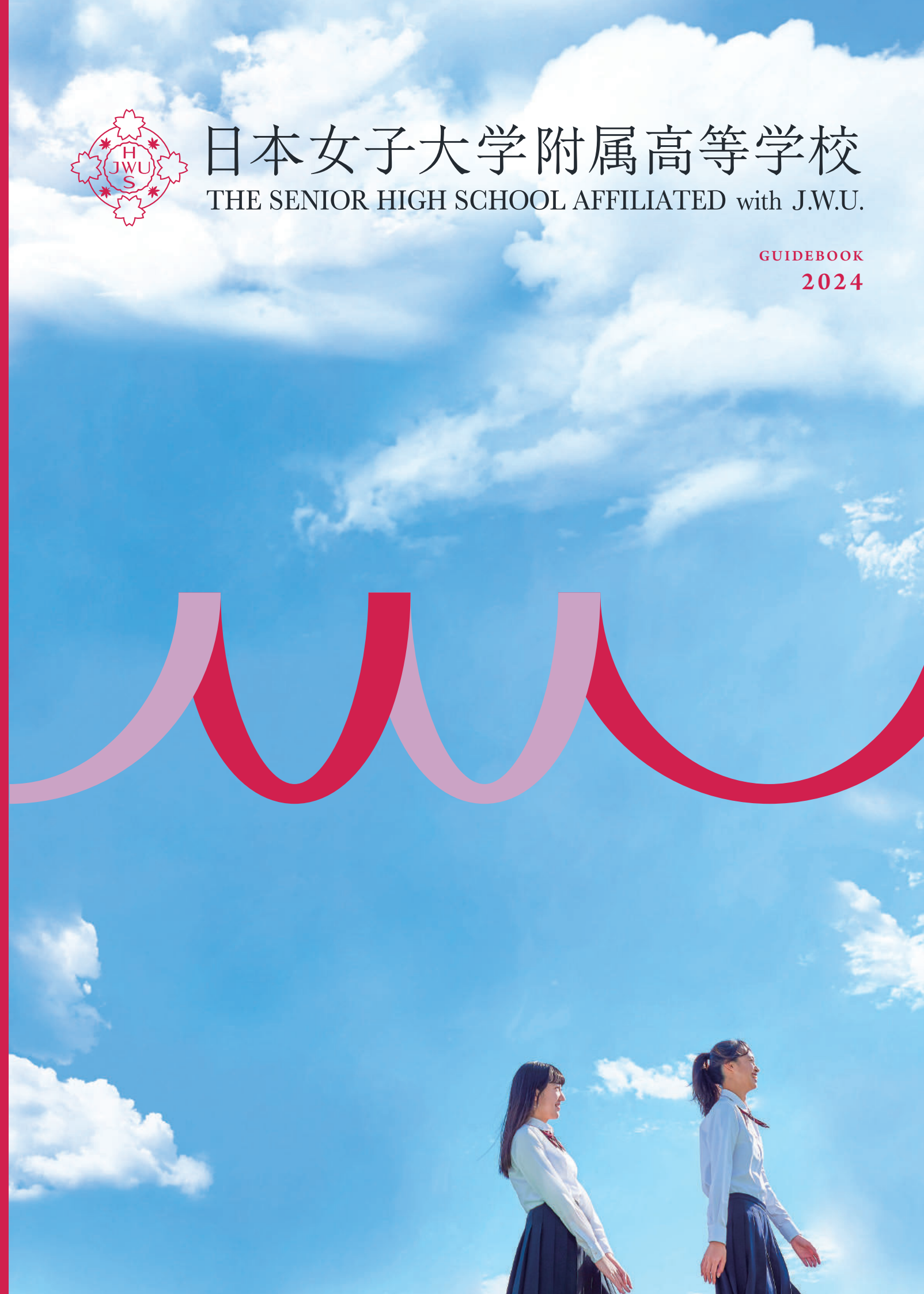


日本女子大学附属高等学校

THE SENIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.



〒214-8565 神奈川県川崎市多摩区西生田1-1-1
TEL: 044-952-6705 (入試事務室)
FAX: 044-954-5450 E-mail: n-fuzokuh@atlas.jwu.ac.jp





THE SENIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.



03 日本女子大学附属高等学校のあゆみ	15 クラブ活動
05 校長挨拶	17 施設紹介
06 教育綱領	19 Q&A
07 学びの特色1 学習活動	21 卒業生メッセージ
11 学びの特色2 自治活動	23 日本女子大学へ
12 対談 生徒×先生	25 多様な進路
13 年間行事	26 インフォメーション・アクセス

HISTORY of

THE SENIOR HIGH SCHOOL
AFFILIATED with J.W.U.

120年の伝統と叡智 日本女子大学附属高等学校のあゆみ

- 1901 日本女子大学の開校とともに附属高等学校が開校
- 1906 附属豊明小学校・幼稚園が開校
軽井沢三泉寮が開寮
- 1919 成瀬仁蔵告別講演が行われる
- 1947 附属高等女学校を母体に目白に附属中学校（新制）が開校
- 1948 日本女子大学（新制）が発足
附属高等女学校を母体に西生田に附属高等学校（新制）が開校
- 1979 西生田キャンパスに中高合同校舎（現在の校舎）が完成
- 1993 ニュージーランド国際交流を開始
- 1996 西生田成瀬講堂が竣工
- 1998 週5日制を導入
- 2001 日本女子大学が創立百周年を迎える
また、附属高等女学校の開校からも100年目を迎える
- 2002 アフガニスタン女性教育支援プログラムへの取り組みを開始
- 2018 特別講座「知の泉」を開講
- 2021 開校から120年目を迎える



開校時の附属高等女学校校舎と正門から延びる桜並木



創立者成瀬仁蔵（前列右から3人目）、渋沢栄一（日本女子大学校第3代校長、前列右から4人目）、創立当時の教員との集合写真

創立者

成瀬 仁蔵

1858（安政5）年、周防国吉敷郡吉敷村（現在の山口市）の藩士の家に生まれる。1890（明治23）年に渡米、女子教育の研究を行う。1894（明治27）年に帰国し、『女子教育』を出版、女子大学設立運動に着手。1901（明治34）年、初めての総合的な女子高等教育機関として、日本女子大学校を創設。精神教育を重んじ、自学自習を奨励し、生涯教育を主張した。1919（大正8）年、告別講演を行い、「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」の教育綱領を揮毫し、永眠した。



PHILOSOPHY of

THE SENIOR HIGH SCHOOL
AFFILIATED with J.W.U.

自ら考え、自ら学び、自ら行う
互いを尊重し、共に成長する



校長 薄 由美

高校生になるあなたへ

本校の生徒達は「自治と自由の花咲かす」*校風のもと、広大な森に包まれた学び舎で学習活動と自治活動に励み、知性や理性、感性を磨いています。学習活動では、豊かな教養を身につけるため文系・理系のコースに分けることなく学びの裾野を広げています。同時に、深く掘り下げて学習することができるよう選択授業の充実にも努めています。更に「特別授業～ライフデザイン教育・メンタルヘルス教育・シチズンシップ教育～」 「知の泉～土曜等特別講座～」 「高大接続プログラム」 「国際理解教育」等、プラスαの学びを展開しています。自治活動は学習活動と並び、創立者成瀬仁蔵の遺

した三綱領「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」の実践の場です。日々の学校生活やクラブ活動等では、自らの意見を発信し異なる見解に耳を傾け、互いを尊重する話し合いの姿勢を体得しながら様々な能力を育みます。自由であるためには責任が伴うことを認識し、協働して物事を成し遂げる充足感を体験します。これから高校生になるあなたが、自ら考え自ら学び自ら行動する力を身につけ、己の人生を切り拓くことができるように、そして「生田 生田 わがふるさと」*の地にて、実り多き3年間を過ごすことができるように、私達は精一杯支援してまいります。

*「日本女子大学附属高等学校学生歌」の一節

教育綱領

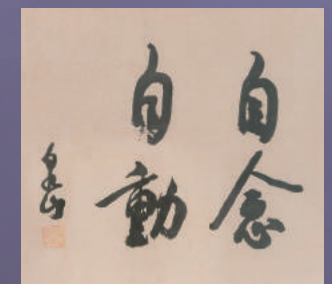
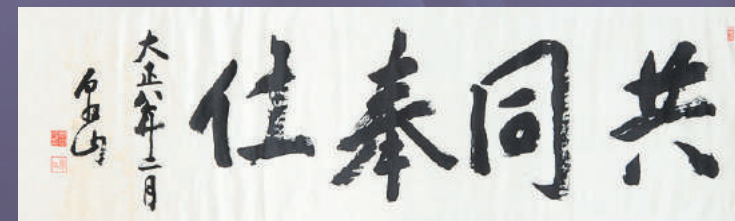
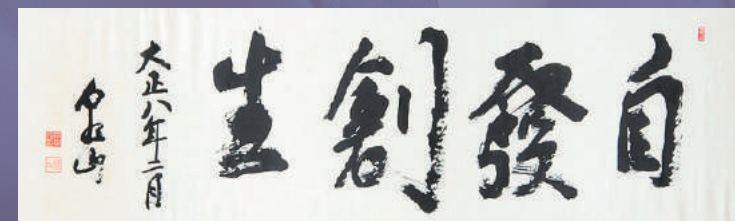
三綱領

信念徹底 | 自己を見つめ、信念を確立

自発創生 | 自発的な試みから独自性が生まれる

共同奉仕 | 社会との交わりが人を成長させる

晩年、創立者成瀬仁蔵は教育綱領として「信念徹底」「自発創生」「共同奉仕」の三つの言葉を残しました。この綱領にこめられているものは、成瀬自身の生き方の発露であり、社会に生きる者に通用する理念であるといえるでしょう。この三つの綱領は、本学創立以来の教育方針の根底にながれている教育理念であり、本学園の教育実践のよりどころとなっています。



創立者成瀬仁蔵が創立時に唱えた「自学自動」「自覚自動」の精神は、高等学校において「自ら考え、自ら学び、自ら行動する」という教育目標として浸透しています。

01

THE DISTINCT ADVANTAGE of
THE SENIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.

学習活動



STUDENT'S VOICE

2年

本校の授業は大学入試や定期試験だけを目的としたものではなく、自ら学ぶ姿勢を育ててくれるものであると思います。自分の得意教科や不得意教科に関係なく、どの授業も楽しく勉強できます。私は特に、実験や実習が好きです。化学では多くの実験を行います。コロイド溶液や石鹼水の示す性質を確認する実験では、じっくりと取り組むことで化学反応の仕組みや現象を一つ一つ確認できました。教科書を読むだけでなく、実際に目で見て確かめることで、学ぶことの楽しさを実感できました。



STUDENT'S VOICE

3年

私は外国語に興味があり、選択授業の「中国語」を受講しました。中国語を学ぶのは初めてでしたが、日常会話の習得に重点を置いた授業で興味深く学べました。対面授業に加えmanabaによる配信授業を通して、先生が話す中国語を耳や目で確認できました。街中で耳にする中国語が聞き取れるようになったときは嬉しかったです。グローバル化が著しい世界で自分が活躍できる場を広げるためにも、高校生のうちに第二外国語を学ぶ機会を得られてよかったです。



受験勉強に縛られない、自由で多様な学びの機会が、学問の楽しさを教えてくれます。

文系理系に分けないカリキュラムが、将来の活躍の幅を広げてくれます。

カリキュラム

教科	必修																	選択		必修																			
	国語	地歴・公民		数学		理科			保健体育		芸術			外国語		家庭	情報	選択A	選択B																				
科目	現代の国語	言語文化	文学国語	古典探究	地理総合	歴史総合	日本史探究	世界史探究	公共	倫理	数学Ⅰ	数学Ⅱ	数学A	数学B	物理基礎	化学基礎	生物基礎	物理	化学	生物	体育	保健	音楽総合	音楽Ⅰ	美術Ⅰ	工芸Ⅰ	書道Ⅰ	英語コミュニケーションⅠ	英語コミュニケーションⅡ	英語コミュニケーションⅢ	論理・表現Ⅰ	論理・表現Ⅱ	家庭総合	情報Ⅰ	5科目選択	1科目選択	総合的な探究の時間	ホームルーム	
高1	2	2		2	2					3	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1								3		2			1						1
高2			2	2					2	2	4							3			2	1				2		3		2	2	1	2			1	1		
高3			2	1			3						2				2				3							3		1	2	8	2	2	2	1			

本校のカリキュラムは、文系理系のコースに分けず、全教科全科目にわたって偏りなく学び、将来どのような分野へ進んでも必要となる基礎的な学力を幅広く身につけることを大きな柱としています。その上で、多種多様な選択科目の中から各自で授業を選び、学びを深めていきます。より専門的な知識を学べる講義に加え、少人数による演習形式の授業、第二外国語の授業など

も用意されています。進路にとらわれることなく、各自の知的好奇心に基づいて自由に授業を選択することが可能な環境の下で、生徒は豊かな教養を身につけると同時に、主体的に進路を考え、その実現に向けて行動できるようになっていきます。

選択科目の例

2年生
選択A

評論基礎 古典読解Ⅰ 歴史総合発展 数学C 数学基礎 生物 など

3年生
選択A

現代文学 評論発展 古典読解Ⅱ 平安文学 漢文 江戸文学 地理探究
日本原始・古代史 日本中世・近世史 現代世界史 アジア史 政治・経済 数学Ⅲ
数学C 物理 物理概説 化学 化学概説 生物 生物概説 論理・表現Ⅲ
ライティング リーディング フランス語 ドイツ語 中国語 情報Ⅱ など

3年生
選択B

児童文学 表現法 時事問題 総合数学 データ科学 線形代数 音楽 器楽 美術
工芸 書道 フランス語 ドイツ語 中国語 ディスカッション 基礎英文法
応用英文法 情報総合 など



幅広い知識と教養を身につける、プラスαの学びの機会を提供しています。

周囲の世界に対して急速に視野が広がる高校時代こそ、幅広い知識と教養を身につけることが大切です。本校では、大学附属校ならではの環境を生かした、教科の授業とは別のプラスαの学びの機会を多数提供しています。各分野の専門の先生による授業、社会で活躍する卒業生の話、日本女子大学の教員による講義や学生からの助言、語学や海外の文化を学ぶ機会など、生徒の知りたい、学びたいという意欲に応えます。環境や制度を整え、生徒が自ら考え、自ら学ぶことによって、自らの進む道を開いていくことを支援しています。

卒業生の話、日本女子大学の教員による講義や学生からの助言、語学や海外の文化を学ぶ機会など、生徒の知りたい、学びたいという意欲に応えます。環境や制度を整え、生徒が自ら考え、自ら学ぶことによって、自らの進む道を開いていくことを支援しています。

特別授業

すべての生徒が人生を豊かに主体的に生きていくために必要なことを学ぶ特別授業を行っています。卒業生が語る人生から自分の将来を思い描くライフデザイン教育、弁護士の先生などから良き市民であるために必要な法律知識等を学ぶシチズンシップ教育、精神科医の先生や心理学専門の先生から心の健康について学ぶメンタルヘルス教育の3つです。

ライフデザイン教育

- ライフデザイン・キャリアデザインを考える
- 私のキャリア選択
- あなたが輝く働き方～家族と笑顔で過ごしながら仕事に全力！は不可能じゃない！～

シチズンシップ教育

- 民法改正による成年年齢の引き下げに伴う社会的責務について
- 被害にも加害にも関わらないために～家裁調査官からお伝えしたいこと～

メンタルヘルス教育

- コロナ禍におけるメンタルヘルスについて
- ストレスのセルフマネジメント

特別講座 知の泉

自分の世界を広げ、新たな一歩を踏み出そうとする人のために様々な講座が用意されています。社会で活躍する方々を講師に迎え、現代社会の諸問題について理解を深めたり、普段なかなか知る機会のない数学のトピックや最新の科学研究・技術開発について学んだり、英語や小論文の力を伸ばしたり。各自の興味・関心にしたがって自由に参加できます。

現代社会を見つめ 未来を見通す

- 私たちと法
- エチオピアの農村女性への支援
- 多様な進路を考える

興味のある分野を より深く学ぶ

- 数学を究める
- 宇宙の魅力を知る
- 宇宙になぜ行くのか

自分の力を伸ばし 将来に生かす

- TOEIC対策講座
- 小論文対策講座



高大接続プログラム

科目等履修生制度

本校生徒が日本女子大学の提供する指定科目を受講して、大学生と共に学ぶ制度です。条件次第で「先取り単位」として認定されることもあります。

留学準備プログラム

日本女子大学の協定大学に留学した本校出身の大学生から留学の体験談を聞きます。また、英語資格試験の担当者が試験内容を紹介します。

春期セミナー

春休みに本校生徒が日本女子大学の体験授業に参加します。各学科の特徴を知り、大学進学に向けて進路選択を考える良い機会となります。

国際理解教育

海外語学研修

本校は25年以上にわたりニュージーランドで夏期語学研修を実施しています。また、イギリスの名門校であるイートン校でのサマースクールも実施予定です(2024年予定)。海外での経験により、語学力だけでなく、国際感覚や自立心を養います。

国内語学研修

2022年にエデュケーション・ニュージーランドと教育協力に関する協定を結び、様々な企画を予定しています。「企業アイデアソン: BizVenture 2022」では、ニュージーランドの高校生とのオンラインワークショップ、および大使館でのプレゼンテーションを行いました。

留学単位認定制度

AFS、YFUの2団体による校長推薦を得た年間派遣の留学に限り、留学中の30単位を包括的に認定する制度で、この制度を利用すれば出発前と同じ回生に復学することができます。例年3～5名ほどがこの制度を利用して留学しています。

ICT教育

学校生活に浸透するICT

各自の端末を接続できる学内Wi-FiやPC・タブレットが整備されており、授業から自治活動まで様々な活用されています。

日本女子大学と共通のICT環境

授業支援システムmanabaやMicrosoft 365、Zoomなどを通常の授業やオンライン授業、諸連絡、ミーティングなどに利用しています。

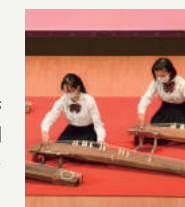
e-ポートフォリオの構築

日々の学習の成果を電子的に蓄積し、いつでも振り返ることができます。大学進学やその後のキャリアデザインに役立てることを目指しています。

その他の学び

■ 兼習

希望者対象の放課後の課外活動として茶道・華道・箏曲・英会話の4講座を開講し、週に一度、専門の先生をお招きしています。「新しい世界と出会いたい」「心安らぐ時間を得たい」「より高い技能を身につけたい」などの理由で、多くの生徒が受講しています。



■ 生徒研究誌「樹木と果実」

生徒の主体的な勉学と研究の活性化を目指し、毎年発行される研究誌。教員に推薦された生徒のレポート・論文・その他の創作物が掲載されます。内容は、授業で提出された考察、「知の泉」の小論文、「地域研究」のレポート、小説、詩、写真など多彩です。



02

THE DISTINCT ADVANTAGE of
THE SENIOR HIGH SCHOOL AFFILIATED with J.W.U.

自治活動

自分たちで考え、自分たちで決める。
勉強だけでは得られない
“自治の学び”があります。

STUDENT'S VOICE

自治委員長

本校は、「自分らしさ」が磨かれる場所です。あらかじめ用意されていることに取り組むのではなく、自分は何を頑張りたいのか、そのためにどう行動していくのかを自ら考えていくことができる環境があります。自分の限界を決めつけることなく、「諦めずに工夫してやってみよう」という精神力と発想力が自然と身につきます。一人ひとりに自治活動が任されており、生徒は皆「誰かのために私が動く」という誇りを持って自らの役割を果たしています。それぞれの場所でそれぞれに活躍する仲間と認め合い、身近な存在から刺激を受けることで、自分自身の更なる成長へと繋げています。皆さんも本校で高校生活を送り、「自分らしい輝き」を見つけてみませんか。



対談
生徒×先生

生徒主体の自治会活動や“知の泉”を通して成長を実感できる喜び

先生：自治会活動では、どのようなことを意識して取り組んでいますか。

Aさん：総務としては、全生徒が一丸となって活動していくことが大切だと考えています。コロナ禍で様々なことが変化しましたが、これからは自分たちの世代で新たな道を切り拓いていこうと、現在は「ザ・フロンティア」をテーマに自治を進めています。

Cさん：私も総務の立場になってから、自分自身が自治を頑張るというよりも、生徒の皆さんが自由に意見交換のできる場を作りたいという思いが強くなりました。

Bさん：全校生徒が九部のどこかに所属し、それぞれが縁の下の力持ちとなって学校を作り上げているのが本校の自治会だと思います。私は生活部の部長として普段からゴミを拾うなど、部の空気感

が学校全体に伝わるように意識して活動しています。

先生：2022年秋は、3年ぶりに八王子セミナーが1泊2日で開催されましたね。

Aさん：自分たちにできることを考えて、どんな形でも前に進めていったことが宿泊の開催につながったのだと思います。諦めないことの大切さを実感しています。

Cさん：議題を決める際、例えば日本女子大学が「ダイバーシティ宣言」をしたことや社会の様々な現象をチェックして、話し合いがより充実するように工夫しました。それによって、広い視野で活発な議論が繰り広げられたことが嬉しかったです。

先生：他にも魅力を感じている行事やプラスαの学びの場はありますか。

Aさん：毎週1回、生徒主体で環境問題やジェンダーなどについて討論するロングホームルームは、自身の生き方に役立ちます。

Bさん：皆が集めた資料やデータを基に軽井沢セミナーは、将来を見据える良い機会になりました。

Cさん：私は夏休みに5日間、知の泉の「数学を究める」という講座に参加しました。単に問題の解法を理解するだけでなく、組み合わせによって生まれる新たな公



式や証明の仕方を学べたことが興味深かったです。

Bさん：私も知の泉の「TOEIC対策講座」を受講しました。難しそうに思えたビジネス英語も、ネイティブの先生との会話などを通して楽しみながら身につけることができました。

Aさん：知の泉の良さは、個人では会えないような外部講師の方から貴重なお話を聞けることだと思います。私は色々な講義を受けましたが、特に産婦人科の先生から妊娠出産について学べたことが印象的で、人生設計を考える上での参考になりました。

先生：皆さんのお話を聞いて、改めて本校は自治と学習の両輪から成っていることを感じました。卒業後も本校で養った力を糧に益々成長されることを願っています。

研修部

終礼伝達、学級日誌の管理、黒板・掲示物の管理、資料配布や提出物回収の補助、フリースタディ講座の企画・運営など、学校生活の充実と学習効率の向上に努めています。

図書部

蔵書の貸出返却や特集展示、清掃等の図書室管理のほか、図書新聞の発行、年に一度作家の先生をお招きして講演会を企画・運営するなど、全校生徒の読書活動を支援しています。

園芸部

教室の花の管理、花壇の植物の手入れ、畑での野菜作りなど、日々の学校生活に潤いを与える活動のほか、卒業記念植樹の準備や式の進行、卒業式用コーサージュの製作協力を行います。

運動会実行委員会

運動会実行委員は、各クラスの体育部部长が担います。リーダーになる3年生の体育部部长は、約半年をかけて競技内容を見直し、安全で円滑な進行を工夫して、運動が得意な人も苦手な人も楽しめる運動会を目指します。

もみじ祭実行委員会

もみじ祭実行委員会は、テーマ決めから、プログラムの作成、展示場所・発表時間の調整、校内の装飾、研究グループの会計管理、前夜祭の運営、オリジナルグッズ制作など、もみじ祭の様々な企画・運営を担当します。

音楽会実行委員会

音楽会実行委員会はプログラムの作成やオーディションの準備など音楽会全般の運営を担当します。また各クラスの委員は、合唱曲の選曲に始まり、日々の練習や本番の動きまで、あらゆる場面でまとも役を務めます。

クラブ連盟委員会

クラブ連盟委員会は各クラブ長で構成されています。月に一度は集まり、活動上の注意事項を確認したり、クラブ活動の様子を共有したりしています。問題点が報告されれば、解決を目指して話し合いを行います。

放送部

学校生活で使用する放送設備の管理と放送業務の運営を担っています。音響・照明・アナウンスの3つの係が、各種行事・集会の進行を支え、昼休みや終礼の伝達放送を行います。

生活部

毎日の清掃や大掃除の分担表の作成・指示、清掃用具の管理、風紀保持の呼びかけ、教室の換気・戸締り・消灯などを担当し、校内の心地よい環境の維持に貢献しています。

文化部

全校や学年で式典・集会を行うにあたり会場の準備、入退場の指示を行い、生徒の聞く姿勢を整えます。また、七夕やクリスマスの飾りつけなど、文化的催し物を企画し、実行します。

経済部

自治会やクラブの予算作成・承認、引き出し、決算などの会計事務のほか、貴重品管理・節電の呼びかけ、募金、ベルマーク・リサイクル品回収など幅広く活動しています。

体育部

体育授業の準備・片付け、生徒の出欠確認を担当しています。また、運動会やスポーツデーの企画・運営、健康診断の補助、保健だよりの作成なども重要な仕事です。

新聞部

学校新聞『いくた』を発行しています。時事問題から校内の話題までバラエティーに富んだ紙面づくりを意識しています。印刷室の清掃も担当し、作業環境の美化に努めています。





軽井沢セミナー

2年生の秋には日本女子大学軽井沢三泉寮にて2泊3日で軽井沢セミナーが実施されます。全体討議・クラス討議や少人数のグループ討議などを通じて、多種多様な意見や価値観に触れて知的な刺激を受け、新たに自分自身を見つめ直す絶好の機会となります。



地域研究

日本各地に設定された4コースの中から歴史・文化・環境・平和・生活などに関するテーマを各自で設定し、事前に十分な予備調査をした上で3年生の5月に4泊5日で現地に出かけます。グループごとに作成した計画に基づいてフィールドワークに取り組み、その成果をレポートにまとめます。



卒業生による学科説明会



高校生活研究セミナー



もみじ祭

10月末に行われるもみじ祭では、ダンスや音楽の舞台をはじめ、研究展示、招待試合など、40を超える研究グループによる多彩な発表が行われます。もみじ祭実行委員会によるテーマに沿った企画や校内の装飾もあり、学校がもっとも活気に溢れ、華やかな雰囲気にもまれる行事です。



年間行事

THE SCHOOL YEAR CALENDAR

一年を通して数多く行われる行事に生徒全員が積極的に取り組んでいます。様々な立場から行事の運営に関わることで、相手の気持ちを理解し仲間の力を活かすリーダーシップや協調性が育ちます。

音楽会

3月に行われる音楽会では、クラスの仲間が気持ちを一つにして練習に励み、合唱を披露します。その歌はいつまでも忘れることのない高校時代の大切な思い出となります。オーディション合格者による演奏では、ピアノやヴァイオリン、声楽や箏曲など様々な分野のレベルの高い音楽が表現豊かに演奏されます。



運動会

運動会は3学年縦割りの8クラスによる対抗戦で行われます。競技練習などを通して、新年度が始まって間もない時期のクラスの絆が深まる大切な行事です。運営は全校生徒で分担される係によって支えられています。趣向を凝らした歌や踊り、装飾が披露される応援発表も見どころです。



図書部講演会



芸術鑑賞会

思い出はすべて、自分たちの手で 作る。様々な経験と感動が、自分を育てる糧となる。

4

April

- 始業式
- 入学式
- 新入生オリエンテーション
- 全校会・歓迎会
- 創立記念日(20日)
- 健康診断

5

May

- 地域研究フィールドワーク(3年生)
- 遠足(1・2年生)
- 運動会

6

June

- 日本女子大学各学科個別相談会(3年生)
- 前期中間試験
- 成瀬先生生誕記念日(23日)
- 高校生活研究セミナー
- 授業参観

7

July

- 芸術鑑賞会
- 日本女子大学各学科説明会(2年生)
- 終業挨拶
- 夏季合宿

8

August

- 海外語学研修(ニュージーランド)

9

September

- 始業挨拶
- 軽井沢セミナー(2年生)
- 日本女子大学教員による特別講義(2年生)

10

October

- 前期末試験
- 全校会
- 前期終業式
- 後期始業式
- もみじ祭

11

November

- 高校生活研究セミナー
- 日本女子大学各学部説明会(1年生)

12

December

- 進学試験・後期中間試験
- 図書部講演会
- 終業挨拶
- 冬季合宿

1

January

- 始業挨拶
- 推薦入学試験
- 成瀬先生告別講演記念日(29日)
- 卒業生による日本女子大学各学科説明会(2年生)

2

February

- スポーツデー
- 一般入学試験
- 学年末試験

3

March

- 成瀬先生ご命日(4日)
- 音楽会
- 全校会・送別会
- 卒業式
- 終業式
- 春季合宿



STUDENT'S VOICE

運動会実行委員長

運動会実行委員会では、充実した運動会へ向けて意見を交わし、私たちにできることを模索しました。これほど本気で物事に打ち込めたのは初めてで、運動会が終わることを残念に思いながら閉会式に臨みました。クラスメイトからの励ましを受けたこと、色々な生徒からありがとうと言ってもらえたことは、大切な思い出です。



STUDENT'S VOICE

もみじ祭実行委員長

もみじ祭実行委員会では、研究発表の場をさらに拡大し、より多くの方々に楽しんでいただきたい、という生徒の熱い思いにこたえるために、開催のあり方を模索しました。当日、生徒もお客様も楽しんでいる様子を見て、無事に開催できた安堵感を覚えると共に、活気あるもみじ祭が開催できたことを嬉しく思いました。



STUDENT'S VOICE

音楽会実行委員長

音楽会は、合唱を通してクラス全員の気持ちが一つになる、一年間の集大成にふさわしい行事です。各クラスの個性あふれる演奏やオーディション合格者が奏でる様々な音色が大ホールに響くと、音楽の魅力を改めて感じることができます。それぞれが練習を重ねて作り上げた演奏は、多くの人の記憶に美しく残ったと思います。





クラブ活動

CLUB ACTIVITIES

本校には40のクラブがあります。ほとんどの生徒がクラブに所属し、自治の精神を活かして活動に励んでいます。多くのクラブが長期休暇に合宿を行い、技術を高めるとともに確かな人間関係を築いています。

好きだから、夢中になれる。頑張るほど、面白くなる。



STUDENT'S VOICE

クラブ連盟委員長

クラブ連盟委員会では、各クラブ部長と連携しながら活発なクラブ活動を目指しています。より充実したクラブ活動の実現に向けて多くの苦労がありましたが、各クラブ活動の様子、たとえば、音楽が聞こえてきたりグラウンドを走っている姿が見えたりした時、皆が生き生きと活動していることを実感できました。

文化系

- E.S.S.
- 囲碁
- イラスト
- 演劇
- かるた
- クッキング
- 軽音楽
- 弦楽
- コーラス
- 社会科研究
- 写真
- 書道
- 吹奏楽
- 生物
- 天文
- 人形劇団ベロッコ
- 美術
- V-RAM
- Play-Lot
- 文芸
- 放送研究
- ミュージカル
- レビュー
- ロボット研究

運動系

- 剣道
- 硬式テニス
- 水泳
- スキー
- ソフトテニス
- ソフトボール
- 卓球
- ダンス体操
- チアリーディング
- 馬術
- バスケットボール
- バドミントン
- バレーボール
- フィギュアスケート
- 陸上競技
- ワンダーフォーゲル

2023年度の一覧です。増減したり、活動内容が変更されることがあります。



STUDENT'S VOICE

コーラスクラブ

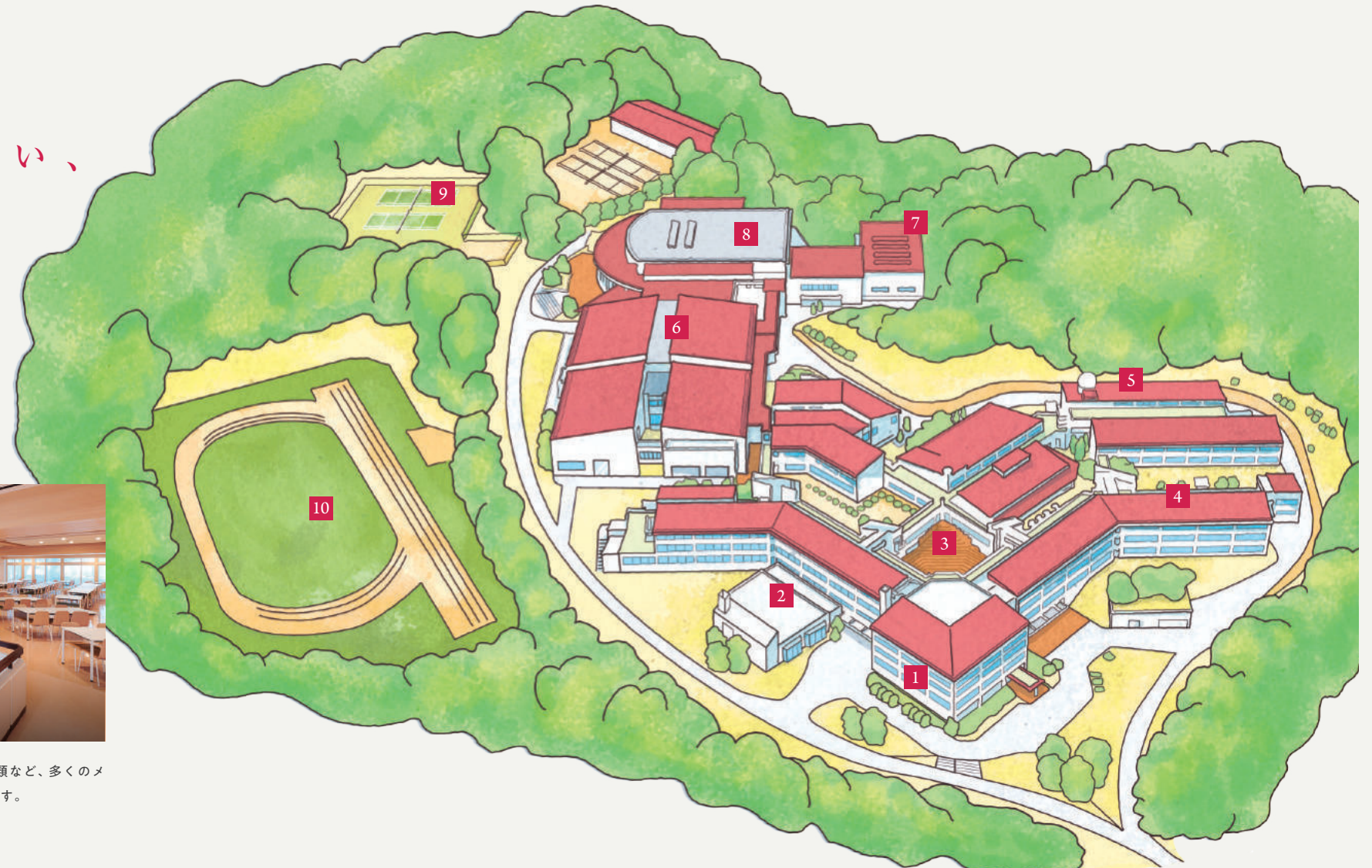
コーラスクラブではクラブ員の自主性を大切にしています。学年にかかわらず意見を出し合い、一つの合唱曲を作り上げていく過程で、どの学年のクラブ員も個性を發揮できます。私も以前は意見を発することが苦手でしたが、生徒主体の活動を通してリーダーシップを持てるようになり、高校生活が豊かになりました。

施設紹介

FACILITIES

本校は、校舎もグラウンドも広い森に囲まれているため静かで清々しく、勉強やクラブ活動など学校生活を送るには最高の環境です。校内の各施設もゆとりがあり、活発な生徒たちの活動を支えています。

四季の
移り変わりが美しい、
広大な森に
囲まれた
静かな環境。



1 図書室

蔵書数は5万冊以上で、毎月の新刊展示や生徒による本紹介など、訪れるたびに知的好奇心を刺激する空間です。朝から放課後までいつでも読書や自習に使えます。



2 食堂

一度に400人以上が利用できる食堂です。定食や丼、麺類など、多くのメニューは日替わりで、パンやデザートまで充実の品揃えです。



3 もみじ劇場

校舎に囲まれ、陶器の椅子が並ぶ野外劇場。普段、晴れた日にはとても気持ちの良い憩いの場所に、もみじ祭ではその名の通り演奏や発表の舞台となります。



4 もみじモール

3年生の教室前に幅10m、長さ160mにわたって作られているゆとりのスペース。ピアノが何台も設置されており、自由に使うことができます。



7 室内プール

体育の授業やクラブ活動で使われる25m×6レーンの温水プール。窓が広く、緑の木々がよく見えるので、屋外で泳いでいるような気分です。



8 西生田成瀬講堂

本格的な音響・照明設備を備えた1,800名収容の大ホールと400名収容の2つの小ホールは、様々な式典や集会の会場として使われます。



5 科学館

物理・化学・生物の実験室は高校生が使うものだけで6つもあります。実験実習を多く取り入れた授業は、本校に理科好きの生徒が多い理由の一つです。



6 体育館

バスケットボールができる大きさの体育館が2つと、さらにその約3倍の大きさの体育館が1つ。空調も完備され、思い切り運動したい生徒の元気に応えます。



9 テニスコート

森の中に、オムニコート4面、クレイコート2面があります。体育の授業やクラブ活動で、生徒たちはのびのびとテニスに取り組んでいます。



10 グラウンド

200mトラックの内側は芝生のフィールド。緑の木々に囲まれたグラウンドはとても清々しく、四季を感じながら爽やかな汗を流すことができます。

Q&A よく寄せられるご質問にお答えします



Q 附属中学からの人たちと仲良くなれますか？

A 入学してすぐに遠足や運動会などクラス単位の行事があり、自然と打ち解けていきます。クラブ活動や自治会、行事などは高校だけで行っており、生徒は出身中学に関わりなく活躍しています。勉強についても、附属中学では先取り学習はしていませんし、中学と高校の教員は分かれていて、附属中学からの入学者にとっても新しい環境でのスタートとなるので、高校からの入学でも心配はいりません。

Q 女子校の良さは何ですか？

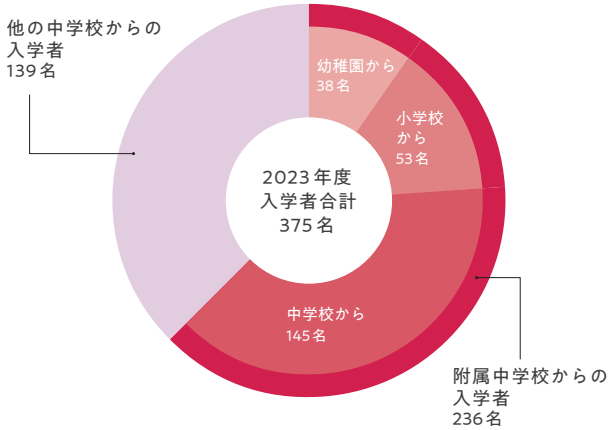
A 創立以来、本校では「伝統的な女性の役割」とらわれず、人間としての価値に重きを置いてきました。本校で育った生徒たちは、自己を確立し、自立した人間に成長しています。また、女子校においては、ジェンダーバイアスを気にせずにリーダーシップを取り、あるいはフォロワーシップを発揮し、仲間を支える経験を積んでいくことができます。

Q 土曜日は休みですか？

A 土曜日は基本的に生徒登校日ではありません。ただし、定期試験あるいは運動会や文化祭などの行事のために登校する場合もあります。クラブの練習や試合、コンクールに参加することや、趣味、稽古事、読書、勉強の時間にあてて、有意義に土曜日を活用するように指導しています。また、授業のない土曜日や長期休暇を有効に活用するために、新しい学習の場「特別講座 知の泉」を開催しています。「TOEIC対策講座」「現代社会を見つめる」「数学を究める」「小論文対策講座」「多様な進路を考える」「宇宙の魅力を探る」など、意欲と関心にあわせてより深くより高度な学びに挑戦できます。

Q 在学中に長期の海外留学をして復学することはできますか？

A 学校が指定する公的留学機関（AFS、YFU）に校長推薦を得て応募し、海外に1年間留学した場合は、希望により、所定の条件を満たせば出発時の回生に復学でき、3年間で卒業できます。その際、留学先で取得した単位は、最大30単位までを包括的に認定します。ただし、日本女子大学への進学については制約が出てきますので、詳細はお問い合わせください。また、学校の指定外の機関を利用して留学する場合は、1年間休学して一つ下の学年に復学することになります。



例年入学者のうち、約40%が高校から入学する生徒です。1学年8クラスで、どのクラスも附属中学出身者と混合になります。

Q クラス編成はどのように行われますか？

A 1クラスは、定員が46名です。各学年は8クラスありますので、1学年は368名が基本です。特別な編成はせず、附属中学からの進学者も高校からの入学者も同じ教室で授業を受けることになります。2年生になる際にクラス替えがありますが、この時も文系・理系などのコース別の編成はしません。これは一貫教育の中で広く教養を身につけ、様々なタイプの友人と3年間を過ごしてほしいという教育方針の表れです。一人ひとりの興味を深めたり、進路を視野に入れた学習は選択授業という形で実現されます。

Q 通常の授業以外に補習などは行われますか？

A 全員を対象とした補習が夏休みなど毎年きまった時期に行われるということはありませんが、科目ごとに希望者を対象に発展応用または弱点克服のための補習を行うことはあります。もちろん個々の質問には丁寧に答えています。外国語科では、英語を苦手とする生徒を対象に少人数制の補習授業を実施しています。中学で学んだ文法の基礎を復習することで高校の授業の理解を深め、大学進学に向けて自立して学習できるようにすることを目指しています。

Q テレビに出たり、雑誌に掲載されたりするような活動は許されていますか？

A 本校では、学業および学内活動を生徒の最優先すべき活動と考えています。したがって学外における活動については、大変慎重に判断をいたします。学外での活動の希望がある場合は、必ず事前に学校長宛に願い書を提出していただいて、それが許可されたときに活動することができます。詳細についてはお問い合わせください。

Q 朝は何時に始まりますか？

A 1年を通じて8時45分までに登校し、授業は8時50分が始まって、終礼が15時45分に終わります（後期は15時15分終了）。放課後の活動は、17時40分（後期は17時20分）までです。

Q 生徒はどんな地域から通学していますか？

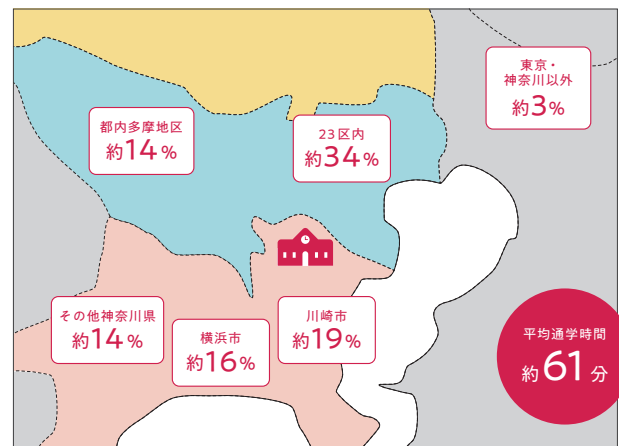
A 本校の通学区域は、東京都内や近郊の各県に広範囲にわたっています。遠くから通ってくる生徒も多く、通学時間の平均は61分ほどです。



ONE DAY SCHEDULE

- 8:45 | 予鈴
- 8:50 | 授業開始
- 12:40~13:30 | 昼休み
- 15:20 | 授業終了
- 15:45 | 終礼終了
- 17:40 | 最終下校

後期は45分授業
終礼終了15:15、最終下校17:20



Q 制服はないと聞きましたが、どのような服装で通学したらよいですか？

A 本校の服装についての心得には、「通学服については、本校があえて校服を制定しない趣旨をよく理解し、生徒自ら定めた風紀規約を正しく守り、これにもとづいた服装をする」とあります。毎年、次年度自治会の責任者たちが規約改正準備委員会を発足させ、服装の規約に関してもそこで討議し、最終的には全校投票をもって決めます。生徒達は、この内規の中で自由に服装を選び、個性を表現しています。現在の内規では、例えばスカート（またはキュロットスカート）について、紺・黒・グレーの無地でハードブリーツのあるものと定めています。また、スラックスについては、紺・黒・グレーの無地で形はストレートとなっています。内規に違反している生徒がいると、服装関係を担当している生活部を中心にしてその対策を考え、自分たちで作った内規が実行されるように、工夫を重ねています。なお、入学式、卒業式、始業式、終業式など学校の定めた日に式服（紺・黒のブレザー、スカートまたはスラックス、白無地のブラウス）を着用することと、髪色の染色・脱色の禁止、化粧やアクセサリの禁止については、風紀内規ではなく、学校の決めた規則となっています。



卒業生 メッセージ

田邊 詩織さん 2013年 卒業生

慶應義塾大学 文学部 人文社会科学 国文学専攻 卒業
朝日新聞社東京校閲センター

読み手として言葉と誠実に向き合った経験が、
読者はどう受け取るかを考えさせてくれる。

国語で、言葉の奥深さを知る。

文庫本まるまる1冊を少しずつ読み進めていく国語の授業が印象に残っています。「一つ道の行きどまりに門を見つける」ってあるじゃない。そういうシーンから始まる映画があってね……。日本の文学からヨーロッパの映画へ、先生のお話はいつも軽やかに飛躍していきます。ひとつの言葉から豊かに広がっていく世界に触れる時間が何よりも好きでした。言葉がひとつ違っただけで、読み手の受け取るものも変わってきます。授業をきっかけに、言葉が読み手に与える影響について興味を持ちました。大学では「言葉と心」をテーマに国文学やメディア論を学び、コンテンツを受け取ったときに人の心がどう動くかを考えました。

「その表現で傷つく人がいないか」という視点。

現在は新聞社で校閲をしています。記事に出てくる言葉やデータの誤りを直す仕事ですが、もう一つ大切なのが「その表現で傷つく人がいないか」に気をつけるということです。そのためには、言葉のもつ歴史的な背景や読者の気持ちにも気を配る必要があります。辞書を引いたり、自分の知識と照らし合わせたりして、記事の表現に問題がないかを確かめる。そうやって一つひとつの言葉に向き合いながら文章を読んでいると、高校の授業を思い出します。高校時代の友人とは、卒業から10年経った今も関係が続いています。趣味やクラブ活動で共通点がある人、全然タイプが違うのに隣にいて楽しい人……。自分を理解してくれる人に出会えたことが、本校に入ってくれたと思う一番の理由です。



御所園 実花さん 2011年 卒業生

日本女子大学 家政学部 食物学科 管理栄養士専攻 卒業
早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科 修士課程 修了
早稲田大学スポーツ科学学術院助手

個人の意見を尊重してくれた先生方と
支え励まし合った友人たちが今の私を形作っている。

実行委員の経験が現在の仕事に活かしている。

運動会や文化祭などの充実した学校行事、理系・文系にとらわれず幅広く学んだ授業、活発な自治活動やクラブ活動と、様々なことを経験できた高校時代は、私の人生の土台を築いてくれた貴重な3年間だったと思います。特に思い出深いのは、運動会実行委員長を務めたことです。委員長という立場は、リーダーシップを発揮する必要がありますが、ひとりでは突っ走っては誰もついて来てくれません。委員やクラスの一人ひとりと向き合い、時には先導、時には伴走しながら、「全校生徒が楽しめる運動会」の実現を目指して奮闘したこの時の経験と学びは、現在の仕事にも活かしています。

クラブ活動で食事の大切さを実感。

クラブ活動(陸上競技)では、なかなか記録を伸ばせない時期を経験しました。そんな時に食事のとり方を見直したところ、練習を積めるようになり、パフォーマンスが向上。食事の大切さを身に染みて実感した私は、管理栄養士を志しました。現在は管理栄養士と公認スポーツ栄養士の資格を活かし、大学でスポーツ栄養に関する研究と競技者への食事・栄養面でのサポートを行っています。

私がそうであったように、将来に繋がるきっかけは高校生活の至るところに転がっていると思います。日々の活動の中で私たちの意見を最大限尊重してください。先生方、支え励まし笑いかけてくれた友人たちと出会えた日本女子大学附属高等学校での高校生活があったからこそ、今の私があると思います。



鈴木 靖美さん 2011年 卒業生

東京女子医科大学 医学部 卒業
慶應義塾大学病院 小児科

高校生活の中で身についた自治の精神は
小児科医の今でも、大切な信念となった。

諦めずに挑戦することが、自分の可能性を広げる。

私は高校1年生の夏頃から医師を志し、指定校推薦を念頭に勉強に励みました。また、ダンス体操クラブの活動にも全力で打ち込みました。二つを満足にこなすことは容易ではありませんでした。だからこそ、どちらも諦めずに全力でやり遂げたときの達成感と得た経験は、私にとってかけがえのない宝物になりました。人生は選択の繰り返しです。時には一つしか選べないこともあります。諦めずに挑戦することで、自分の可能性を広げ、成長することができます。互いに切磋琢磨できる友人や、支えてくださる先生方、挑戦できる環境を与えてくれた本校に、心から感謝しています。

チームの中で求められるリーダーシップ。

高校で身についた自治の精神は今、小児科医としても大切な信念となっています。本校では生徒たちが責任を持って運動会や文化祭などのイベントを執り行うなど、自ら考え、創りあげ、表現するチャンスが数多くあります。今は小児科医として、子供たちにとって最善の方法を考え、子供たちが前向きに治療を受けられるよう工夫し、子供たちのご家族にも治療に納得してもらえるような説明ができるよう努力しながら、毎日の診療にあたっています。また、医師は医療チームの中で、リーダーシップも求められます。学校生活で自然と身についた姿勢に感謝し、本校の卒業生であることに誇りをもって、小児科医として日々成長していきたいです。



笠原 由理恵さん 2010年 卒業生

日本女子大学 理学部 物質生物科学科 卒業
富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社
SE統括部 東日本第一技術部

学生時代、意思を持って行動し続けたことが、
今に生きている。

高校時代、一番好きな科目は「化学」になった。

もともとは、国語や社会が好きで完全に文系の人間でした。高校2年生の時に出会った先生のお陰で、実験の楽しさや「当たり前」だと思っていたことを理論的に表現できる面白さを知りました。そこから理系の進路を検討し始め、本校の良さである「文理分けないカリキュラム」での授業を受けられたため、将来の選択肢を狭めることなく、最終的には理学部へ進学することが出来ました。

相手の人柄や企業風土を熟知することで信頼を得る。

大学卒業後は、今まで培ってきたものを生かしつつ、未開拓の領域へ挑戦してみたかったため、システムエンジニアという職を選びました。現在は会計・給与・販売等の基幹システム導入の支援をしています。実際に使う方の視点を大切にしたいという思いから、お客様を知りぬく活動を心がけて対応していたところ、「笠原さんはこちらが伝えなくても気持ち代弁して進めてくれるから安心できる」と評価して頂き、意志を持って行動し続けたことは、少しずつ周りを変えていくことができると体感しました。高校時代、授業や自治活動の中で、論理的に物事を考え、相手を尊重しながら、自分の思いや考えを文字に表現すること、自分でゼロから創造する力など様々な力を自然と身につけていたことに改めて気付かされます。高校時代の貴重な3年間での日々の気付きの積み重ねや経験、多様な価値観に触れること、それらすべてが自分自身の人間力を上げることに繋がり、女子だけの環境だからこそ、より人としての魅力を磨ける3年間になったと感謝の気持ちでいっぱいです。



GRADUATES' MESSAGE

日本女子大学へ

伝統と革新が支える、一貫教育。
これからも自立した女性を育てます。

詳細は日本女子大学の
大学案内または
Webサイトをご覧ください。



目白キャンパス：成瀬記念講堂

進路指導

授業見学や説明会など日本女子大学での学びや生活を知る機会が豊富に用意されています。また、日本女子大学以外の大学を希望する生徒に対しても支援を惜しみません。教員は、担当クラスの生徒と何度も個別面談を行い、最適な進路選択を全力でバックアップします。

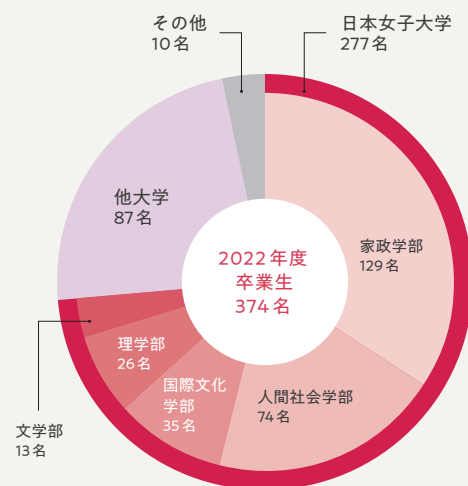
1年次	11月 日本女子大学各学部の概要説明会
2年次	7月 全15学科の大学教員による学部学科説明会
	9月 大学教員による特別講義
	12月 各学科授業見学および研究室訪問
3年次	1月 卒業生による学科説明会
	6月 各学科授業見学および大学教員による個別相談会
	7月 生徒および保護者面談による進路指導
	11月 推薦入試のための作文・面接指導
	1月 日本女子大学推薦入試(附属高校生対象)



内部推薦

日本女子大学への進学を希望する生徒は原則として推薦されます。日本女子大学は6学部(2024年度より、構想中)15学科を擁する総合大学であり、例年75~80%の生徒が自分の希望に合う学科を選び、進学しています。希望が特に集中してしまう場合を除けば、自分の希望する学科に進学することができます。(一部、進学のための要件が設定されている学科があります)

【高校卒業後の進路状況(2023年4月調べ)】



日本女子大学

家政学部

- 児童学科
- 食物学科 食物学専攻
- 食物学科 管理栄養士専攻
- 被服学科
- 家政経済学科

文学部

- 日本文学科
- 英文学科
- 史学科

理学部

- 数情報科学科 ● 化学生命科学科

人間社会学部

- 現代社会学科
- 社会福祉学科
- 教育学科
- 心理学科

国際文化学部

- 国際文化学科

建築デザイン学部(仮称)[†]

- 建築デザイン学科

日本女子大学 大学院

- 家政学研究科
- 人間生活学研究科
- 文学研究科
- 人間社会研究科
- 理学研究科
- 建築デザイン研究科(仮称)[†]

[†] 2024年4月新設予定(構想中)

【日本女子大学で取得可能な資格】

教員免許[中学校一種・高等学校一種^{※1}、幼稚園一種^{※2}、小学校一種^{※3}、栄養教諭一種^{※4}]、学校図書館司書教諭^{※1}、司書^{※5}、博物館学芸員^{※5}、保育士^{※2}、栄養士^{※4}、衣料管理士(一級)^{※6}、認定心理士^{※7}、認定給本士^{※2} など

【日本女子大学で取得可能な受験資格】

管理栄養士^{※4}、一級建築士^{※8}、社会福祉士^{※9}、公認心理師^{※7,10} など

※1心理学科・食物学科管理栄養士専攻・国際文化学科を除く全学科、※2児童学科、※3教育学科、※4食物学科管理栄養士専攻、※5全学科、※6被服学科、※7心理学科、※8建築デザイン学科、※9社会福祉学科、※10大学で規定科目の単位修得後、大学院における所定の科目の修了又は省令で定める施設における2年以上の実務経験が必要

就職状況と主な就職先

日本女子大学の2022年度就職率は約97.8%(2023年3月現在判明分)、就職に強い大学として高い評価を得ています。また、内定先に対する満足度でも圧倒的多数の学生が「満足」という感想を抱えています。

【主な就職先】 ※()内の数字は人数

日本生命保険(10)/明治安田生命保険(9)/東京海上日動火災保険(8)/三井住友信託銀行(7)/アクセンチュア(7)/住友生命保険(6)/JALスカイ(5)/あいおいニッセイ同和損害保険(5)/清水建設(4)/日本電気(4)/富士通(4)/東日本旅客鉄道(4)/りそな銀行(4)/三菱UFJ銀行(4)/第一生命保険(4)/日本銀行(4)/三井不動産リアルティ(4)/ベネッセスタイルケア(4)/積水ハウス(3)/三菱電機(3)/大日本印刷(3)/凸版印刷(3)/富士電機(3)/中央労働金庫(3)/野村證券(3)/マイナビ(3)/こどもの森(3)/住友林業(2)/大和ハウス工業(2)/ソニー(2)/東京エレクトロン(2)/日産自動車(2)/日清オイリオ(2)/NTTデータ(2)/NTTドコモ(2)/読売新聞社(2)/日本総合研究所(2)/BIPROGY(2)/KDDI(2)/NTT東日本(2)/日本IBM(2)/羽田空港サービス(2)/ファーストリテイリング(2)/損害保険ジャパン(2)/大和証券(2)/アンダーソン・毛利・友常法律事務所(2)/独立行政法人 国立印刷局(2)/一条工務店(1)/大林組(1)/高砂熱学工業(1)/三井デザインテック(1)/SUBARU(1)/カッシーナ・イクスシー(1)/キーエンス(1)/日立製作所(1)/良品計画(1)/いなば食品(1)/カルビー(1)/キリン(1)/サントリー(1)/ヤマザキビスケット(1)/ロート製薬(1)/ロクシタンジャパン(1)/積水化学工業(1)/日本ハム(1)/福助(1)/USEN-NEXT(1)/トムス・エンタテインメント(1)/毎日新聞社(1)/エイベックス(1)/チームラボ(1)/旺文社(1)/楽天(1)/松竹(1)/日本オラクル(1)/NHK(1)/JR東海(1)/トゥモローランド(1)/三越伊勢丹(1)/ロエベージャパン(1)/アマゾンジャパン(1)/コニカミノルタジャパン(1)/ラルフローレン(1)/岩谷産業(1)/国際協力銀行(1)/商工組合中央金庫(1)/日本政策投資銀行(1)/三菱UFJモルガン・スタンレー証券(1)/リクルート(1)/EYストラテジー・アンド・コンサルティング(1)/PwCコンサルティング(1)/デロイトトーマツコンサルティング(1)/星野リゾート(1)/高見(1)/国立研究開発法人 情報通信研究機構(1)/公益財団法人 東京都予防医学協会(1)/日本女子大学附属豊明幼稚園(1) 地方公務員(22)/国家公務員(11)/公立小学校教員(39)/公立中学校教員(13)/公立高等学校教員(4)

※教員は非常勤・期限付き任用教員を含む

【内定先への満足度】 ●満足…63.2% ●だいたい満足…35.3% ●やや不満…1.5% ●不満…0%

有効回答率 88.4% 2022年度 日本女子大学卒業生

多様な進路

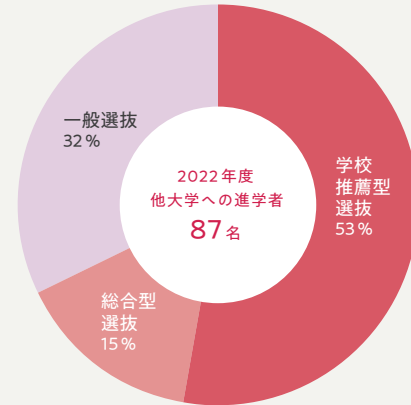
FUTURE COURSES

他大学へ

医学や法学、芸術など、自分の目標のために日本女子大学以外の大学を希望する生徒は20～25%ほどです。このうち半数以上は学校推薦型選抜（指定校制と公募制）で合格しています。本校のカリキュラムで学び「自学自動」「自念自動」の精神を身につけた生徒たちが、多くの大学で評価されています。

併願制度

日本女子大学にない8学部（医・歯・薬・看護・獣医・法・芸術・体育）のいずれか一つの学部の受験については、日本女子大学との併願が可能です。これに加えて、日本女子大学の志望学科が人間社会学部、理学部または国際文化学部の場合、国公立大学及び各省庁大学校の受験については、受験学部を問わず併願が可能となります。



過去3年間の既卒者を含む合格実績

一部抜粋 ()は推薦合格者数

国公立大学	2020	2021	2022
東京大学	1		
東京工業大学	1	1	
北海道大学			1
筑波大学		1	
お茶の水女子大学		1	1
東京外国語大学	2		1(1)
東京学芸大学		1	1
東京藝術大学		1	1
東京農工大学			1
東京都立大学		2(2)	1
横浜国立大学			1
横浜市立大学		1	
山形大学			1
山梨大学			1
静岡県立大学			1
信州大学		1	
豊橋技術科学大学	1		
九州工業大学	1		

私立大学	2020	2021	2022
慶應義塾大学	13(3)	14(3)	19(3)
早稲田大学	11(1)	21(1)	14(1)
上智大学	18(7)	12(6)	21(9)
東京理科大学	6(4)	11(5)	4(4)
学習院大学		8(2)	2(2)
明治大学	8	10	12
青山学院大学	10(4)	12(4)	12(5)
立教大学	10(2)	18(3)	17(3)
中央大学	15(7)	12(7)	14(8)
法政大学	7(1)	9(1)	7(1)
国際基督教大学	1	1	1
東京音楽大学	3		2
武蔵野美術大学	1		

私立大学 医歯薬系	2020	2021	2022
北里大学	2(2)	1	4(2)
杏林大学	2	1	2
国際医療福祉大学			1
埼玉医科大学	2(1)	2(2)	1
順天堂大学	1	1	
昭和大学	2	1	2
聖マリアンナ医科大学	2(1)		
帝京大学	1		
東海大学		1	1
東京医科大学	1	1	
東京慈恵会医科大学		1	
東京女子医科大学		3(2)	2(2)
東邦大学	1	1	1
日本大学	2		
日本医科大学		1	
東京歯科大学	2(1)		
日本歯科大学	2(2)	1(1)	1
昭和薬科大学	1(1)	2(1)	1(1)
東京薬科大学	2(2)	2(1)	4(4)
明治薬科大学	1(1)	1(1)	1(1)

2022年度学校推薦型選抜（指定校制）一覧 <一部抜粋>

- 慶應義塾大学 理工学部(3)
- 早稲田大学 基幹理工学部(1)
- 上智大学 法学部(3)/外国語学部(2)
- 東京理科大学 理学部第一部(2)/工学部(1)/薬学部(1)/先進工学部(1)
- 学習院大学 法学部(3)/経済学部(2)/理学部(4)
- 青山学院大学 経済学部(1)/法学部(1)/経営学部(1)/理工学部(1)/社会情報学部(1)
- 立教大学 観光学部(1)/現代心理学部(2)
- 中央大学 法学部(5)/経済学部(1)/理工学部(4)/総合政策学部(1)/国際経営学部(1)
- 法政大学 文学部(1)/グローバル教養学部(1)/デザイン工学部(1)
- 立命館大学 理工学部(1)
- 北里大学 医学部(3)/獣医学部(1)
- 昭和大学 歯学部(1)
- 東京歯科大学 歯学部(1)
- 日本歯科大学 生命歯学部(1)/新潟生命歯学部(1)
- 明治薬科大学 薬学部(2)
- 昭和薬科大学 薬学部(1)
- 東京薬科大学 薬学部 女子部(2)/生命科学部(1)

インフォメーション・アクセス

INFORMATION & ACCESS

学校見学・相談会

7/8 [土]
9/16 [土]
10/14 [土]

夏季学校見学会

7/29 [土]・30 [日]
8/12 [土]・13 [日]
14 [月]・15 [火]
19 [土]・20 [日]

もみじ祭（文化祭）

10/28 [土]・29 [日]

学校説明会

11/11 [土]



お申し込み方法など詳細はホームページをご確認ください。

